

R-TYPE TACTICS
戦闘報告書(仮)

No.005 「木星衛星基地調査」

作成日：2016年02月21日

内容

作戦の目的、基本情報	1
戦闘参加者、搭乗機	2
バイド情報.....	3
戦闘方針	4
アルスの航海日誌.....	5
第 1 次戦闘記録.....	6
第 2 次戦闘記録.....	7
第 3 次戦闘記録.....	8
備考、特記事項	10

作戦の目的、基本情報

作戦名 : No.5 木星衛星基地調査

目的 : バイドの巣窟と化した宇宙基地に進入して、バイドの増殖メカニズムを破壊する。

場所 : 太陽系木星衛星 マップサイズ 40×11

日時 : 第1回 : 2016年02月20日(土)22:16~23:25

第2回 : 2016年02月21日(日)13:54~14:24

第3回 : 2016年02月21日(日)16:40~17:46

第4回 :

勝利条件

相手の旗艦ユニットを撃墜する

敗北条件

自軍の旗艦ユニットが撃墜される

攻略ターン数

35ターン

戦闘参加者、搭乗機

■ 作戦総司令

アルス提督

■ 艦長

パチリス艦長 : UEFS-05 ヨルムンガンド級

■ チーム

平八特攻隊 : Rwf-9A アローヘッド

スコット突撃隊 : Rwf-9A アローヘッド

テシオ爆撃隊 : R-9B1 ストライダー

スミス偵察隊 : R-E1 ミッドナイト・アイ

ピータソン補給隊 : TP-02C POW アーマー

ホワイト隊 : Rr2o-3 工作機

■ 備考

武装等については、省略とする。

バイド情報

■ BOSS

ドブケラドプス

頭部、胸部、本体の3つに分かれている巨大なバイドである。

■ チーム

リボー

ゲインズ

タブロック

ストロバルト

ピスタフ

キャンサー

戦闘方針

R-9B1 のバルムンクを主体として、敵を駆逐していく。

駆逐し切れなかった残党は Rwf-9A のミサイルで攻撃して排除する。

R-9B1 への補給を繰り返し、少しずつだが着実に相手の戦力を削いでいくこと。

ただし、作戦可能時間が限られているため、出来るだけ前進していく。

予定ルート

1. マップ中央に進軍させ、リボー、ゲインズを撃破していく。
2. マップ上部の壁を破壊し、進軍。
3. マップの中間地点にはバイドが多数存在するため、少しずつ倒し進軍。
4. マップ上部からドブケラドプスの頭部へ移動し撃破する。
5. ドブケラドプスのコア部分を波動砲などで総攻撃して倒す。

アルスの航海日誌

【作戦前】

木星の衛星軌道に浮かぶ軍事施設「ミーミル」。

かつてここは、地球を守る最終防衛ラインの中核としての役割を担っていた。だが、押し寄せるバイドに抵抗しきれずついに陥落。

幾度か奪回作戦が展開されたのだが、ことごとく失敗

数日前にも、新鋭機 Rwf-9DH を大量に投入して、大規模な作戦が実施されたが奪回を果たせなかったらしい。

そのような大規模艦隊をもってしても果たせなかったことを、我々のような小規模な艦隊にやらせるとは…。

軍の上層部は、一体何を考えているのだろうか？

【作戦後】

第1次戦闘記録

数多のバイドによる攻撃を掻い潜り、木星衛星基地最奥部まで入り込むことに成功。

最奥部には巨大なバイド「ドブケラドプス」が生息していた。

ドブケラドプスの奇襲により、こちらの戦力は壊滅的なダメージを受け、作戦失敗。

1. 失敗の原因

ドブケラドプスの攻撃をデコイに集中させ、その隙に Rwf-9A による波動砲で決着をつける算段だった。しかし、ドブケラドプスはデコイを歯牙にもかけず波動砲フルチャージ状態の Rwf-9A に集中砲火してきた為、チャージが解除されてしまった。これによりドブケラドプスを倒す有効な攻撃手段を失ったことが大きな敗因である。

2. 成功への対策

ドブケラドプスに接近する際はマップ上部から攻め込む。まずは頭部を撃破することにより、攻撃頻度を減らす方針だ。その際は、R-9B1 によるバルムンク、Rwf-9A による波動砲で集中砲火を実施。ただし、事前にデコイへの攻撃確認後に決行すること。

第2次戦闘記録

作戦開始早々に、ゲインズの遠距離攻撃により、R-E1 と Rwf-9A が撃墜。

作戦を進めていくのに重要な駒を失ったのも束の間、フォースまでもが破壊されてしまう。

これにより撤退を余儀なくされた。

1. 失敗の原因

ゲインズが波動砲一撃で撃墜させられると思い込んでしまったこと。

また、チャージが解除されていると思い込んでしまったこと。

2. 成功への対策

ゲインズの攻撃は R-E1 は一発だけなら耐え切れる。これを利用するか

あるいは、デコイに攻撃させた後に総攻撃をしかけることで対応可能。

第3次戦闘記録

第1回、第2回の戦闘記録を留意して慎重に事を運んでいった。
道中、敵の猛撃に耐えつつも健闘し、遂にドブケラドプスまで接近した。
ここで大方の予想通り Rwf-9A や重要なユニットに攻撃されてしまった。
結果、惜しくも旗艦が撃沈され作戦失敗となった。

1.失敗の原因

旗艦ユニットを前線に出しすぎたことにより、ドブケラドプスの攻撃で撃墜されてしまった。

2.成功への対策

ドブケラドプスの至近距離にいると、攻撃の射程範囲外となるため、Rwf-9A は、速やかに敵本体に接触を図ること。

第 4 次戦闘記録

-作成中-

備考、特記事項

第1次作戦失敗時に、ユニットとフォースを獲得するが、クリアまで利用しない方針としていた。
しかし、第三次まで度重なる作戦失敗を喫したことから、新機投入を決定した。